

D:「火山」誌における文献引用に関するガイドライン

1. 投稿しようとする論文に記載しようとする内容が、既出の文献で示されたものである場合には、その知見や発見事実を得た先行研究者の功績に敬意を表するとともに、研究の履歴を読者に示すために、適切な引用を行うべきである。一般に、自然科学上の事実データやアイデアを、あたかも自分のオリジナルのものであるかのように記述することは好ましくない。
2. 著作権法上、適正な引用は著作権者に無断で行うことができる。ただし、出典明示は適法引用の要件の一部に過ぎない。適正な引用方法となるよう、その他の要件にも注意を払うべきである。
3. 引用可能な文献であっても、引用することが適切な文献かどうかは自明ではない。例えば、学会講演要旨や一般向けのガイドブックなどに書かれた内容は、研究途上のものや査読を経ていない場合も多い。そうした文献に書かれた内容を引用して批判したり、自説の論拠としたりすることは必ずしも適切ではない。一方で、特に他社の研究の先取性を示す必要があって、他に適切な文献がない場合などには、引用した方がよいと判断される場合もある。
4. インターネット上の情報、学会講演要旨、会議資料（火山噴火予知連絡会資料など）の引用は、なるべく避ける。ただし、原稿中の記述を補助するための参照や紹介を目的とした引用については、編集委員会の承認のもとで行えることとする。インターネット上の情報の参照を行う場合には、その参照対象が、当該原稿の出版時点以降十分な期間にわたって存在し続け、かつ掲載内容が固定的であることを必要とする。参照を行う際の記載にあたっては、原則として公開出版物への URL 掲載の許可を web 掲載管理者等から著者が受けることとし、単一の参照先については、ページファイル名を含めた URL、複数ないし全体を参照する場合には当該ホームページアドレスを明記し、当該ページの著作権者名とともに、脚注において引用する。
5. しばしば引用される文献の名称および略記の例を以下に示す。ここに示されていない雑誌については、例えば CiNii や Web of Science, ISI の略記法を参考にするとよい。名称

和文略記	欧文略記
------	------

地質学雑誌	地質雑	J.Gcol.Soc.Japan
地学雑誌	地学雑	J.Geogr.
岩石鉱物鉱床学会誌	岩鉱	J.Japan.Assoc.Mineral.Petrol.Econ.Geol. (82 巻まで) J.Mineral.Petrol.Econ.Geol. (83 巻以降)
火山		Bull.Volcanol.Soc.Japan
地震		J.Seismol.Soc.Japan
東京大学地震研究所彙報	震研彙報	Bull.Earthq.Res.Inst.

名称	欧文略記
----	------

American Journal of Science	Amer. J. Sci.
Bulletin of Volcanology	Bull. Volcanol.
Contributions to Mineralogy and Petrology	Contrib. Mineral. Petrol.
Earth, Planets and Space	Earth Planets Space
Earth and Planetary Science Letters	Earth Planet. Sci. Lett.
Geochimica Cosmochimica Acta	Geochim. Cosmochim. Acta
Geophysical Research Letters	Geophys. Res. Lett.
Journal of Geophysical Research	J. Geophys. Res.
Journal of Petrology	J. Petrol.
Journal of Physics of the Earth	J. Phys. Earth
Journal of Volcanology and Geothermal Research	J. Volcanol. Geotherm. Res.
Philosophical Transactions of the Royal Society of London, series A London, A	Phil. Trans. Roy. Soc.
Physics of the Earth and Planetary Interiors	Phys. Earth Planet. Int.